

7/14

地域の水産業を学ぶ

福島養源小学校水産教室



新松浦漁業協同組合（田渕輝明組合長）福島くるまえば養殖場と県は、同学校の4年生15人を対象に、水産教室を開きました。

この取り組みは、地元の水産業に興味を持ち、理解を深めてもらおうと毎年実施しています。

児童は水槽内のクルマエビや施設を見学しながら、生態や育て方、出荷方法などについて説明を受けたあと、養殖池へ稚エビ300匹の放流を行いました。このクルマエビは、10月から12月に出荷される予定です。

7/17

鷹のように誇り高く。鷹島まち協始動！

鷹島地域まちづくり運営協議会設立総会



同会の設立総会が開催され、初代会長に木山智明さんが選出されました。

まちづくり計画では、「鷹のように誇り高く 歴史とともに生きる 自然豊かな鷹らの島」を将来像に掲げました。

今後は、地域内の団体間の連携、住民の協働により、鷹島の食や歴史を活かした文化観光分野や、郷土愛を育み、世代を超えて互いに支え合う生活福祉分野などで活動される予定です。

7/19

笑顔で繋いで交流深める

第17回松浦市バレーボール協会長杯ソフトバレーボール大会



同大会が松浦スポーツセンターで開催され、市内外から17チームが参加。

今回は3部門が設けられ、和やかな雰囲気の中で参加者は日頃の練習の成果を発揮し、コート上での交流を深めました。

優勝チームは以下のとおりです。（敬称略）

【ファミリーの部】 飛鳥 A

【フリーの部】 一颯

【レディースの部】 彩羽

7/26 文化会館をまるごと楽しむ

まるごと一日お楽しみ DAY ! 2026



同イベント（文化会館主催）が文化会館で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

ロビーでは、歌やダンス、演奏などのパフォーマンスに加え、窓ガラスに絵を描いて遊べるお絵描きアート広場も設けられました。

また、ふれあいホールでは、市内外からマルシェやワークショップなど約50店舗が集結。

さらに今回は、松浦市保育会主催の「すくすくフェスタ」も同時開催され、ゆめホールに舞う1万個のシャボン玉に、来場者から歓声があがりました。

8/2 松浦の極みフェア！ 松浦アールスメロンまつり

JA ながさき西海松浦メロン部会



「松浦の極み」認定の松浦アールスメロンまつりが（道の駅）松浦海のふるさと館 漁村体験学習施設で開催されました。

今年は、春先の天候に恵まれて生育が良く、大玉傾向で甘くておいしいメロンに仕上がっています。

市内外から旬のメロンを求めて多くの人が訪れ、早朝から行列ができました。用意された約350ケースは、次々と販売され、会場は爽やかなメロンの香りに包まれていました。

8/2 団結力で、一線延長！

第39回長崎県消防ポンプ操法大会



同大会が、大村市の長崎県消防学校で開催され、市消防団からは、第19分団が小型ポンプの部へ出場しました。

県内各市町から14チームが参加する中、3月から積み重ねてきた訓練の成果を発揮し全力で競技に挑みました。

上位大会出場には届きませんでしたが、訓練で培った技術と経験を今後の消防団活動へ活かし、地域防災力のさらなる向上が期待されます。

